

7月23日選曲委員会会議録（概要）

1 「第九」や「復活」「カルミナ・ブラーナ」といった曲を市民合唱団と一緒にするのが周年記念に相応しいのではないか？（意見等）

- ・まだ先のことだが、コロナ禍の終息が見えないのに合唱とのコラボというのは気になる。
- ・「第九」はチューバ有りの曲にするという役員会の前提条件に合わない。→チューバとしては、皆がやりたいのなら構わない。
- ・「復活」は水害やコロナ禍からの復興をテーマとすることで、総社市や倉敷市からの支援が得られやすいのではないか。
- ・合唱団を入れると運営面が大変になるのではないか？合唱を入れることについて、先ず役員会の了解が必要ではないか。
- ・舞台設営経費がかかるので倉管単独主催では財政的に困難ではないか？合唱指導は誰がするのか？合唱団はトラなのか公募なのか？→やるとしても音楽祭が現実的。

以上のことから定期の選曲からは合唱付きの曲は外すこととした。

2 次回は松井先生とのブラームスがよいのではないかと？

（意見等）

- ・次回の指揮が松井先生となる確証はないので、純粋に皆がやりたい曲を考えたらよいのではないかと。
- ・ブラームス3番は前回から随分と経っている。チューバは無いが... →チューバとしては、皆がやりたいのなら構わないし、前プロで考慮してくれたらよい。→前プロとして、金管がやりたかったのに変更になったヒンデミットは考えられないかと？→ブラームスとヒンデミットの組合せは弦の負担が大きい。

以上のことから、招聘指揮者のことは考慮せずに検討することとした。

3 第49回の選曲について

（意見等）

- ・ブルックナーは候補として毎回上がっているが、主な方々が嫌いという理由だけで避けられているのはいかなるものか？→7番だとワグナーチューバは手配できるのか？→セットで楽器付きのトラを頼むのが現実的ではないか。→ホルンパートにトラを呼ぶとワグナーチューバを含めて12人になるが多くないか。また、今の作陽大には吹ける学生はいない。→第51回に向けて考えたらどうか。
- ・シベリウス1、2番とブラームス3番の中から役員会で選んでもらうことでどうか？→特に異議なし。

以上のことから、シベリウス1、2番とブラームス3番を役員会に提案し決めることとした。

4 第50回について

（意見等）

- ・マーラーや「英雄の生涯」など魅力的な大曲をすることで団員も増やせないかという思惑もあるが、一方でただやりたいかやりたくないかという判断基準ではなく、今のオケレベルを踏まえつつ、レベルアップできる曲を考えるべきではないか。
- ・マーラーは管楽器が多く必要だが揃うのだろうか。
- ・打楽器がたくさんあったりハーブ2台などの曲が候補にあるが「幻想交響曲」は鐘の手配が難しく前回は京都から行った。それ以外の楽器は何とかできるのではないかと。
- ・50回は倉敷市文化振興基金から周年記念の助成（30万円）があるが、TCCの応募要項が9月に公表されるため、それも選択肢の一つとできるよう、9月以降に協議したらどうか。

以上のことから、出された意見を踏まえ、大曲或いは有名なソリストの招聘など周年記念に相応しいプログラムについて、9月に再協議する。